

moricara 自然観察学習館 リニューアルオープン!

～学習館の歴史をひもといてみよう～

学習館はいつ出来たの?

1985年(昭和60年)3月設立
万博開催15年を記念して!



1985
最初は…スタッフ2名で運営
3月から11月までの9か月の開館
建物は半分(現在の展示室)だけ

▲空から見た当時の学習館(「森発見」より)

この当時、日本は高度経済成長の真っただ中。
環境の変化や生活様式の変化が大きく、子どもと自然との関係が希薄になり問題になりました。



- ①自然のおもしろさや大切さを知ってもらうために、万博の自然をわかりやすく紹介する。
- ②身近な自然に触れ合えるよう観察・工作・生産などの実習の活動の拠点とする。

学習館の初代シンボルは園内でよく見られた「キジ」。森が成長するにつれキジは姿を消し、「カワセミ」が2代目のシンボルに。



学習館はなんのために出来たの?

子どもたちが豊かな「緑」「文化」を育てる心をはぐくむことが出来るように。



1997年(平成9年)に
冬季も開館出来るように
新館(実習室)を増築。

ボランティア団体の「指導リーダーの会」と「ソラードの会」が結成され、自然体験イベントや学校団体向けの自然観察ガイドや工作を提供するようになりました。



2010年～2017年にかけて、来園者参加型の「セミのぬけがら調査」を実施。たくさんの方にご協力いただき、多い年で30000個以上ものセミのぬけがらが集まりました!



学習館は35年たってリニューアル!

愛称は「moricara (モリカラ)」!

「moricara
(森から)
はじまる」



「moricara
(森から)
発信していく」

万博の森の入口となる活動拠点として、みなさんに親しんでもらえるようにとの思いを込めて名付けられました。館内も明るく、利用しやすい空間になりました。



「moricara」の
アーチが目印!



円柱型の水槽には、園内に生息する魚やエビなどの生き物が泳いでいます。



キッズスペースには国産ひのき材を使用したボールプールやおもちゃが勢ぞろい。ゆったりとした木育空間に。

4月からの新しい行事 ご案内

万博の森をもっと楽しめるプログラムを計画中です。お楽しみに!
※イベント詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。

4/29 (水祝) くるび先生の
なぜ?を育てる昆虫ワークショップ



くるび先生と一緒に万博の森を散策しよう。生き方など新しい切り口で昆虫と出会えること間違いなし。

講師: 久留飛克明氏
(昆虫科学教育館)

5/9 (土) 香りのハーブスワッグ



万博の恵みを使ってお料理などにも使えるハーブスワッグを作ろう。贈り物にもぴったりです。

講師: 門田久子氏
(FLOWER-DECO Brilliant)

5/11 ~ アメリカザリガニつり体験 (月)



毎日開催!
楽しいつり体験をとおして万博の森の生態系を守ろう。当日手ぶらで参加可能。つれたザリガニは学習館で回収します。

5/22 森林セラピストと歩く万博の森 (金)



日常を離れ、森を歩くことで心と体を癒す森林セラピストの体験プログラム。鳥取県智頭町の森林セラピストがご案内します。

講師: 智頭町森林セラピスト